

## 脳神経外科

### I 経験、習得すべき事項

研修の最大の目的は、患者の呈する神経学的症状を正確に把握し、画像所見に基づいた鑑別診断を考察し、治療を的確かつ迅速に行う能力を獲得することにある。

(1) 頻度の高い症状・病態

頭痛	めまい	呂律難	麻痺
しびれ	痛み	脳神経症状 など	

(2) 緊急を要する症状・病態

頭蓋内圧亢進による意識障害	脳血管障害急性期の意識障害や運動・感覚麻痺
痙攣発作	脊髄障害急性期の運動・感覚麻痺

(3) 経験が求められる疾患・病態

脳血管障害（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞）	頭部外傷
脳腫瘍・脊椎・脊髄疾患	

### II 当診療科における研修の特徴

当科の患者構成の6-7割は脳血管障害で、頭部外傷、脳腫瘍、脊椎・脊髄疾患などがこれに続く。脳血管障害は急性期患者がほとんどであり、的確かつ迅速な治療方針の決定のプロセスを学ぶ。また、患者の呈する多様な神経症状や画像診断についてのカンファレンスや検査・手術に参加し、脳神経外科で扱う疾患やその治療について研修習得する。